

令和4年度 事務事業評価シート（1）

[令和3年度事務事業]

一般会計			事務事業分類		A 一般事務事業	
事務事業名 前立腺がん検査			事業番号		011-190	
担当部署名		健康福祉	局	健康	部	健康推進 課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(1) 健康で長生きできる都市の実現		
			有	取組の方向性	②生活習慣病の発症予防・重症化の予防				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.4		
			有	取組	生活習慣病の啓発、対策の推進				
		寄与するKPI	有・無	指標名	—				
		無	現状値	—	目標値	—			

2	関連計画					
3	事業開始年度	平成 29 年度	点検年度	令和 7 年度		
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	堺市がん対策推進条例、堺市前立腺がん検査の実施に関する要綱				

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁				
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	50歳～69歳の男性市民 (約2.7万人)	対象数	約2.7万		
			単位	人		
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	前立腺がんの予防意識の増進を図るとともに、他のがん検診等の定期的な受診についての意識向上を図り、各種がん検診の受診率の向上を達成する。				
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	血液検査でPSA値を測定し、PSA値の把握を行う検査を実施。 受診希望者は直接医療機関へ検査を申し込み受診する。 前立腺がん検査は、胃・肺・大腸がん検診、または堺市国民健康保険特定健康診査と同時受診となる。				
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	検査内容 ・問診 ・血液検査 (PSA値測定) ・自己負担金：無料 (令和4年度まで) 検査結果により、要精密検査になった方には精密検査を案内している。				
	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載					
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	一般社団法人堺市医師会				
10	公民連携・協働事業					

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	実績	実績		目標	目標
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	点検年度
11 受診者数	人	目標値	1,000	1,500	1,930	1,930
		実績値	1,477	1,770		
		達成率	148%	118%		
当該指標を選定した理由		市民が前立腺がん検査を受診することで、前立腺がんの予防意識の増進を図るとともに、他のがん検診等の受診に繋げるため。				
目標値の設定根拠・算出方法		前年の実績値を上回る目標値とする。				
12 実施医療機関数	カ所	実績	実績		目標	
			令和2年度	令和3年度	令和4年度	
		目標値	241	241	241	
		実績値	241	241		
		達成率	100%	100%		
当該指標を選定した理由		検診受診の機会を適切に確保するため。				
目標値の設定根拠・算出方法		市内検診実施協力医療機関数				

令和4年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	前立腺がん検査	事業番号	011-190
-------	---------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和元年度	令和2年度	令和3年度		令和4年度
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算
事業費 (a)	2,375	5,112	3,186	6,033	3,020
13 財源内訳	国支出金				0
	府支出金				0
	市債				0
	その他 ()				0
	受益者負担金(使用料、手数料等)				0
	一般財源	2,375	5,112	3,186	6,033
14 人件費 (b)	810	820	820	820	820
15 年間経費(c)=(a)+(b)	3,185	5,932	4,006	6,853	3,840

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度		事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
	R3	決算				R3	決算		
16 事業費内訳	R3	決算	5	5		R3	決算		
		R4	予算	4		4	R4	予算	
印刷製本費 (枠)	R3	決算	0	0		R3	決算		
	R4	予算	79	79		R4	予算		
通信運搬費 (枠)	R3	決算	0	0		R3	決算		
	R4	予算	17	17		R4	予算		
手数料 (枠)	R3	決算	0	0		R3	決算		
	R4	予算	10	10		R4	予算		
前立腺がん検査 (枠)	R3	決算	6,028	6,028		R3	決算		
	R4	予算	2,910	2,910		R4	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和2年度	令和3年度
① 受診者数	人	1,477	1,770
② 上記①にかかる年間経費	千円	5,932	6,853
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	4,016	3,872
備考 (算出についての説明等)			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	<p>令和2年度より、受診回数を50歳～69歳の間に1回から、50歳～69歳の偶数年齢時へ変更したこと、自己負担金が無償化されたことにより、受診者数は増加しており、令和3年度も昨年度同様に受診者数が増加している。</p> <p>5 がんに加え、前立腺がんの検診の周知やがんに関する正しい知識の普及など、積極的な啓発活動が必要。</p>
----	---

KPI等への寄与 (基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか)

19	<p>検診体制を整え、身近な医療機関での検査が可能となり、検査を希望する市民の受診が達成できている。</p> <p>また、市民が前立腺がん検診を定期的を受診し、早期発見・早期治療につなげることにより、健康寿命の延伸に寄与していると考えられる。</p> <p>全国的に前立腺がんの罹患率は検査の普及に伴い急増しており、死亡数もゆるやかに増加傾向にあるが、5年生存率は99%と高く、早期発見・早期治療へのさらなる取り組みが必要である。</p> <p>今後も、ICT(SNS等)や企業連携の機会を活用した多種多様な手法で啓発や受診勧奨を実施し、5 がんに加え前立腺がん検診の周知や正しい知識の普及を行うなど、受診者数向上に向けて取り組む。</p>
----	--